

国保医療費分析結果から
ターゲットをしぼった保健事業へ

尼崎市市民局国保年金課

野口 緑

国保医療費分析結果から ターゲットをしぼった保健事業へ

尼崎市市民局国保年金課
健康支援推進担当係長 野口 緑

尼崎市職員の健康管理戦略結果から学んだこと

「保健指導で人の命は救える!!結果的に医療費適正化にもつながる!!」

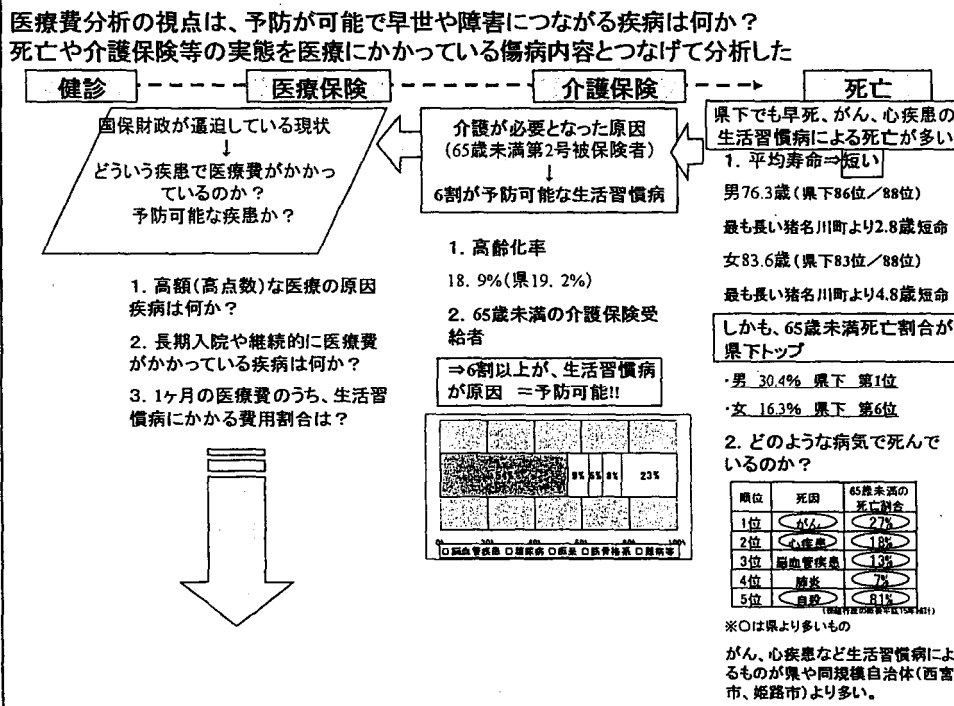
振り返ってみて、どのようなことがポイントだったか？

- ①ターゲットをしぼって保健事業を展開する(集団の健康課題・緊急性をふまえた保健事業対象者の明確化)
- ②緊急性にあわせて保健指導方法等を選択する
- ③対処療法の指示、統計などの因果関係の提示から、体のメカニズムに基づいた自分の身体のイメージがわくための支援へ

集団の健康課題を明確にする



まず、健康破綻に関する指標の整理から



医療費等分析で 明らかとなったこと

高額(高点数)な医療の原因疾病は何か？

レセプト1枚の費用額が200万円以上の者の主疾病(一般・退職)

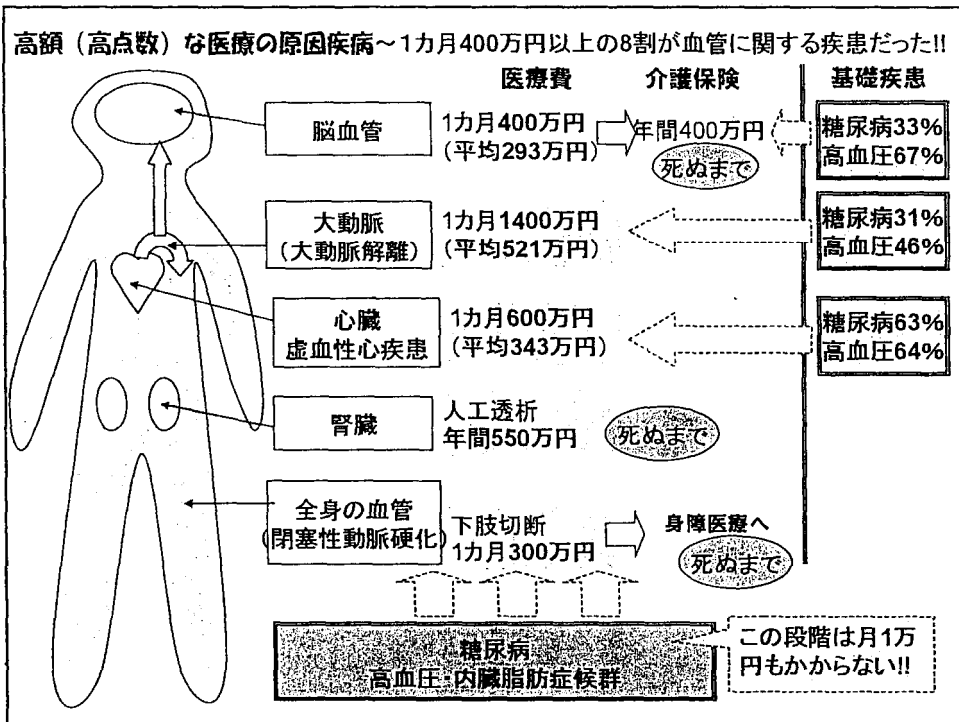
～平成16年4月～平成17年3月で一枚200万円以上請求のレセプト174件より分析

費用種	②		血管に関する疾患										その他				合計								
	血管に関する疾患	その他	虚血性心疾患	ペースメーカー	大血管	冠血管疾患	動脈硬化	腎不全	糖尿病	がん	脳血管疾患	その他	糖尿病	がん	脳血管疾患	その他									
1,000万円以上					1												1	1%							
600万円台	11	4	1	5	2	33%	8	1	10%	0	0%	1	50%	1	50%	0	0%	0	0%	3	8%	1	1%		
500万円台			2	1	3																		8	5%	
400万円台			1	1	4		1																11	6%	
300万円台			12	4	1	1	3	27%	9	90%	1	1	1	1	50%	1	100%	1	100%	2	2	7	28	15%	
200万円台	64	89	31	43	90%	3	2	27%	9	90%	3	4	100%	1	50%	1	100%	38	38	100%	11	13	100%	28	15%
計				48	6	11	10	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	174		
				28%	3%	6%	6%	2%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	100%		
合計	①			血管に関する疾患								その他													
				81								93													
				47%								53%													

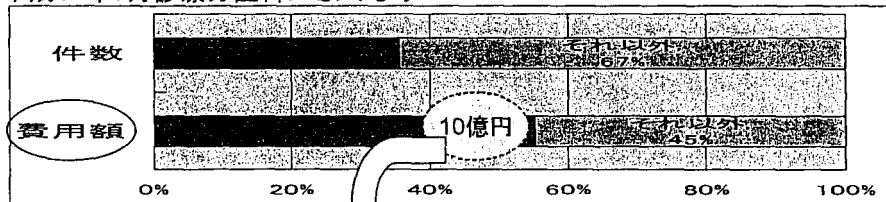
①200万円以上の高額な医療費がかかった者を血管に関する疾患とその他と区分してみると、ほぼ半数づつであった。

②次に400万円以上かかった者でみると、血管に関する疾患が81%、その他が19%と圧倒的に血管に関する疾患が多く、中でも「大血管に関する病気」が多いことがわかった。これは、長期間高血圧であった結果起こってくることが多い。

血管変化は、高血圧や高血糖などを背景に進むため、高額な費用がかかっている疾病のほとんどが予防可能であったと考えられる。

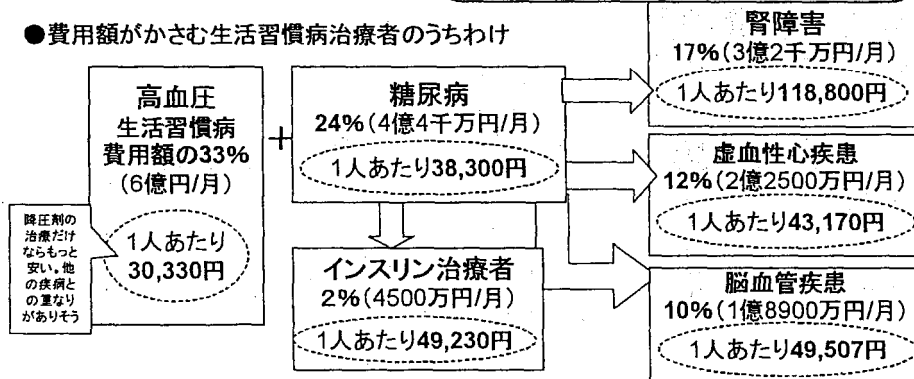


医療費適正化の観点から～増やしてはいけない病気は何?(単月のレセプト分析)
～平成16年5月診療分医科レセプトより

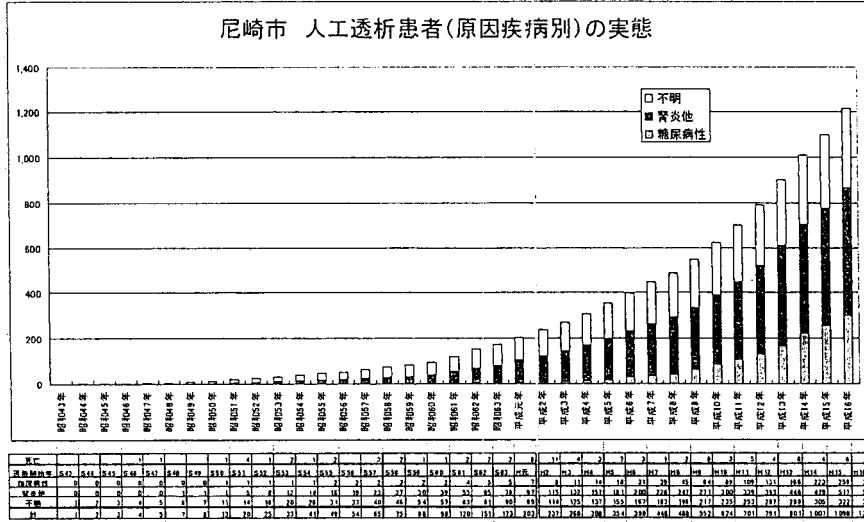


単価が大きい病気が増えると
費用額の増加が大きくなる

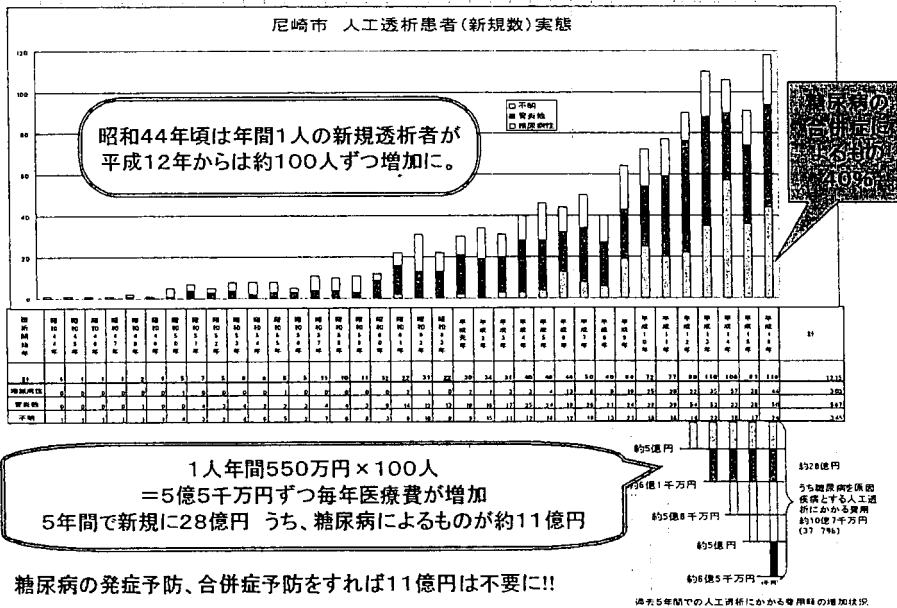
●費用額がかさむ生活習慣病治療者のうちわけ



高額で継続的に医療が必要となる疾病 ～人工透析患者の状況
～昭和44年からの身体障害者認定を受けている人工透析者から分析



高額で継続的に医療が必要となる疾病 ～新規人工透析患者の状況
～昭和44年からの身体障害者認定を受けている人工透析者から分析



虚血性心疾患に至っている人は、どのような状態が重なっている人が多いのか

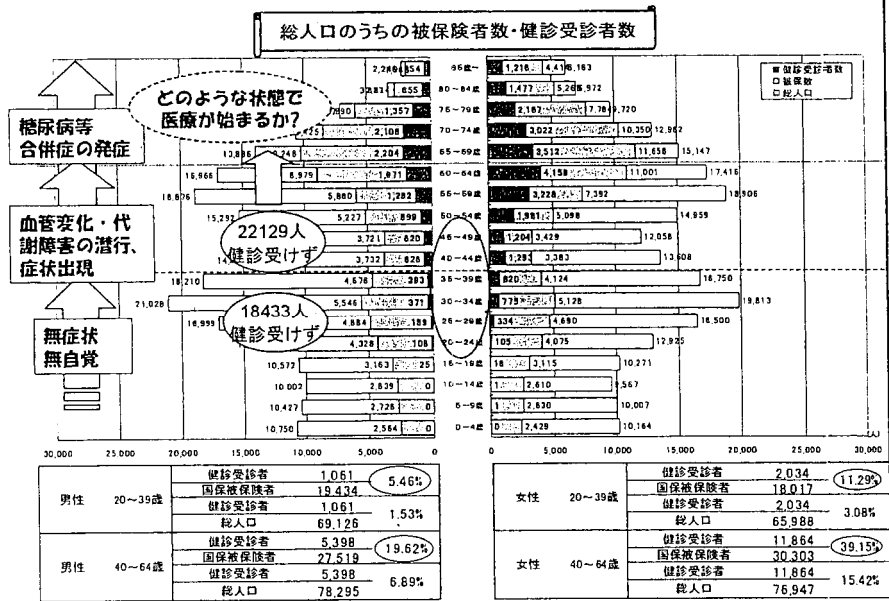
～尼崎市国保平成16年5月診療分レセプトより

虚血性心疾患	糖尿病	高血圧	脳梗塞	男		女	
				人	%	人	%
●				422	18%	616	24%
●	●			254	11%	220	9%
●		●		799	34%	938	37%
●			●	41	2%	42	2%
●	●	●		563	24%	533	21%
●	●		●	37	2%	21	1%
●		●	●	105	4%	106	4%
●	●	●	●	131	6%	82	3%
合計				2352	100%	2558	100%

高血圧高血糖の段階で予防すれば虚血性心疾患を予防できる!!



...しかし、健診受診の実態は？



①市民健診の受診結果を見てみると...

血糖所見と他のリスクの組み合わせ
(平成16年度 男)

	総数	13447	100%	血圧	中性脂肪	HDLコレステロール			
				最高血圧1が140以上 または最低血圧1が90以上	150以上	40未満			
血糖	所見なし	9779	73%	3571	41%	2708	30%	1253	14%
	有所見	3668	27%	1737	53%	1420	39%	726	20%

血圧・血糖の組み合わせの有所見率が最も高い!!

虚血性心疾患に至る最も多い組み合わせ

②人間ドックの受診率の推移

年代	男性					女性										
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	差 (人)	(%)	平成14年度	平成15年度	平成16年度	差 (人)	(%)						
30代	28	9%	27	6%	33	7%	5	-2%	36	9%	23	5%	28	5%	-8	-4%
40代	88	21%	63	15%	58	12%	-8	-9%	75	19%	77	18%	66	12%	-9	-7%
50代	112	35%	92	22%	98	22%	-14	-12%	151	38%	148	30%	150	28%	-1	-10%
60代	112	35%	242	57%	282	58%	151	23%	135	34%	248	50%	285	54%	150	20%
合計	318	100%	424	100%	452	100%			397	100%	494	100%	529	100%		

事業のターゲットを絞らず対象人数枠だけを増やしても、事業の効果にはつながらない

そこで、具体的な施策展開へ

ねらい

- 1 生活習慣病に焦点をあて、若い年代に対する健診・保健指導で医療費適正化
- 2 国保制度の堅持のための目的と、自治体として担うべき職域・企業に対する支援

